

第 1 号議案**平成 2 4 年度事業報告について****1 ツーリズム創造・発展事業****(1) ツーリズム企画推進事業**

①各種委員会を中心に、会員相互の連携により事業企画・推進を図った。

委員会名	開催年月日	場所	内容
事業企画委員会	H24. 8. 3	ツーリズム おおいた	事業計画について 各種委員会の整理・統合について
	H24. 9. 25	ツーリズム おおいた	大分県ツーリズム戦略について 風評被害対策に係る補正事業について
情報発信委員会	H24. 6. 14	ツーリズム おおいた	「ぐるり」秋号について 大分県観光情報HP 秋特集について
	H24. 9. 11	ツーリズム おおいた	「ぐるり」冬号について 大分県観光情報HP 冬特集について
	H24. 12. 11	ツーリズム おおいた	「ぐるり」春号について 大分県観光情報HP 春特集について
	H25. 3. 14	ツーリズム おおいた	「平成 25 年度ぐるりコンペ、夏号」 について 大分県観光情報HP 夏特集について

②ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、事業企画・推進を図った。

協議会名	開催年月日	場所	内容
大分県ふるさとガイド連絡協議会総会	H24. 8. 21	花菱ホテル	平成 23 年度事業報告について 平成 24 年度事業計画(案)について
大分県教育旅行誘致協議会総会	H24. 6. 5	県社会教育 総合センター	平成 23 年度事業報告について 平成 24 年度事業計画(案)について
大分県スポーツ ツーリズム推進 連絡協議会	H25. 3. 19	県社会教育 総合センター	平成 24 年度事業報告について 平成 25 年度事業計画(案)について 次年度以降の協議会のあり方について

(2) 地域ツーリズム振興事業**①大分県観光イメージ戦略構築事業**

平成 23 年度事業として「大分の道」をテーマに撮影してあった写真素材を活用し、平成 24 年度下期に大分県と J R 九州が運行する「まちあるき観光列車」の車両内掲

示ポスターを作成した。また、「まちあるき観光列車」沿線でまだ撮影していない市町村やデザイン監修を、三和酒類株式会社の協力を得て行った。

昨年度の「まちあるき観光列車」の車両内掲示ポスターは、各市町村が個々に作成したものを掲示したため、全体としての統一性のない展示となったが、今年度は統一したデザインを採用し制作したため、大分県の観光イメージとして統一感のあるイメージを打ち出す事ができた。



本事業により作成したポスター



まちあるき観光列車内装

②大分県ふるさとガイド育成事業

平成 24 年 8 月 21 日、別府市花菱ホテルにおいて、大分県ふるさとガイド連絡協議会の平成 24 年度総会を開催した。県内の観光ガイド・市町村事務局担当者 76 名が参加し平成 23 年度の事業報告及び平成 24 年度の事業報告について審議を行った。

総会終了後は、別府八湯竹瓦倶楽部の平野芳弘氏による「地域のまちづくりは、まちあるきから」と題した講演の後、情報交換会を開催し参加者にて積極的に意見交換を行った。



8 月 21 日ガイド総会の様子

また、ガイドの資質向上のための研修会を、11 月 6 日に日田市、2 月 26 日に中津市で開催し、それぞれ 100 名前後のガイドが参加をして交流を図った。

③広域観光推進事業

新東九州観光圏では、佐伯市と津久見市において、平成 23 年度に実施した観光地域づくりプラットフォーム事業で、観光地域づくりの議論の場として設置したワーキングチームの活動を行っている。今後もできる範囲で活動の支援を行っていく。

また、10 月から半年間、大分・別府と臼杵・津久見・佐伯を 500 円で結ぶワンコイン周遊バス「日豊海岸 R I A S 号」が、J T B の新九州物語の一環として運行された。

④国東半島芸術祭事業

国東半島アートプロジェクト2012は、秋季と春季に時期を分けて開催した。秋季については昨年11月に国東市を主会場とし、空家を使ったアーティストの創作活動（アーティストインレジデンス）をはじめ、大分市及び別府市よりアートバスツアーを行った。また春季については2月・3月に豊後高田市を主会場とし、オノヨーコなど知名度の高いアーティストの作品を設置した。この国東半島芸術祭事業は平成26年度まで実施されることから、実行委員会のメンバーとして引き続き県、国東市、豊後高田市と協同で事業を進めていく。



（３）都市圏観光誘客促進事業

①旅行エージェント対策事業

【おおいた観光ツーリズム商談会 in 福岡】

期 日：平成24年5月31日（木）

開催場所：アークホテル博多ロイヤル

参 加 者：（大分県側）18団体／36名 （福岡県側）41団体／78名

県外からの観光客の約3割以上を占める福岡都市圏において、さらなる誘客促進を図るため、福岡の旅行エージェントやマスメディアを招待し、下期に向けての地域の魅力や食のPRを行った。

第1部の全体説明会では、JR九州大分キャンペーンを中心に、まちあるき観光列車、駅から始まるミニツアーや、一昨年に発足した大分ふるさとガイド、九州オルレ奥豊後コースなどの情報を発信した。第2部の特産品体験会では、大分県の選りすぐったグルメを実際に体験していただき、旅行商品や情報誌への掲載を働きかけた。そして、第3部の情報交換会では参加団体がエージェント・マスメディアに対し、パンフレットや映像を用いて最新の観光素材を積極的に売り込んだ。

【おおいた観光ツーリズム商談会 in 大阪】

期 日：平成24年5月29日（火）

開催場所：ホテルグランヴィア大阪

参 加 者：（大分県側）9団体／16名 （大阪府側）22団体／40名

九州新幹線開業に伴い、昨年度から関西地方、主に大阪からの誘客促進を図るために、関西圏域事業として様々な事業を行ってきた。今年度も引き続き関西地方からの誘客を図るため、関西圏域事業を行うが、その一環として、5月29日にホテルグランヴィア大阪にて、初の試みである商談会を実施した。

第1部の全体説明会では、大阪で初めての開催ということもあり、まずは大分県の観光素材や地域の魅力への理解を深めていただくための説明を行った。内容は福岡会場と同様であるものの、温泉や竹あかりの祭典をはじめ、大分らしい観光・食・温泉・自然といった観光素材について、大阪側の参加者にアピールを行った。

第2部の特産品体験会では、豊後牛やからあげ、鰻料理、しいたけめしに地酒など、大分の海の幸、山の幸を大阪側の参加者に体験してもらった。

第3部の情報交換会では参加した大分県内の各市町村、ツーリズムおおいた会員がブースを設け、それぞれがパンフレットなどの資料を用意し、観光素材のPRなど、大阪側のエージェント等と個別商談会を行った。

②旅くらぶおおいた活用事業

旅くらぶおおいたホームページを管理、運営するとともに、毎月メールマガジンを配信し、会員向けに季節の情報や旬の話題を配信した。

また、「福岡都市圏誘客対策」の一環として、新たな女性向けの商品を発掘するため、福岡の働く女性向けの情報誌「アヴァンティ福岡」とタイアップし、福岡の女性20名を対象とした女子旅モニターツアーを実施した。

実施日：2月2日(土)、3日(日)

ツアー名：「おおいた☆キラリ旅ガールプロジェクト」モニターツアー

(4) 関西圏域観光誘客促進事業

昨年3月のJR九州新幹線の全線開業以降、最重点地域と位置づけている関西圏域からの、①誘客強化をさらに推し進めるとともに、②県内周遊と滞在時間延長を促進する事業を実施した。

①誘客強化対策事業

【おおいた竹ものがたり in せんちゅうパル】

開催日：平成24年8月31日(金)、9月1日(土)、9/2(日)

開催場所：千里中央駅前広場「せんちゅうパル南・北広場」(大阪府豊中市)

千里セルシー「セルシー広場」

目的：大阪を始めとする関西の方々に大分県の観光や食の魅力に触れてもらい、秋から下期に実施するキャンペーンで大分県を訪れてもらう契機とする。併せて、7月の豪雨災害により、被災地域を中心に観光客が減少しているおおいたの元気を情報発信する。

来場者数：15万3千人(昨年13万人) 物販売上：416万円(昨年314万円)

◇キャラバン隊PR

イベント参加のため大阪に集まるキャンペーンレディや着ぐるみキャラクターによるキャラバン隊を編成（3班）、関西のマスコミに集中PRを実施した。

ラジオ生出演：2局（ラジオ関西、ラジオ大阪）

新聞掲載：6紙（産経新聞、スポーツ報知、スポーツニッポン、神戸新聞、読売新聞、毎日新聞）



ラジオ大阪



産経新聞

◇ステージイベント

大分県の代表的な伝統芸能である「庄内神楽」を始めとする出し物を披露して、イベント会場の賑わいを演出するとともに、大分県の魅力に直接触れてもらうことにより、誘客の契機とした。

出演者とステージ内容等

庄内神楽：大分県の代表的伝統芸能、演目「国司（くにつかさ）」「大蛇退治（おろちたいじ）」

今成佳奈：J R九州の下期大分C P関係（大分県出身シンガーソングライター）、トーク&ライブ

からっと：大分県のグルメ「中津からあげ」関係、日本唐揚協会公認「からあげ親善大使」、ライブ&からあげの普及PR

市町村：キャンペーンレディや着ぐるみキャラクター等によるご当地PR



庄内神楽



今成佳奈



からっと☆



市町村PR

◇セレモニー

関西圏からの誘客にあたって、広瀬県知事自ら来場者に向けて大分県の宣伝PRを行った。また、キャンペーンレディ代表による大分県観光PRや、「フェリーで行く大分の旅」などが当たる大抽選会を実施して、会場を大いに盛り上げた。

主催者：広瀬県知事、ツーリズムおおいた副会長6名（幸重副会長、梅野副会長、新貝副会長、山内副会長、桑野副会長、津高副会長）

来賓：大阪商工会議所佐藤会頭、大分県商工会議所連合会姫野会長



広瀬知事あいさつ



キャンペーンレディPR



大抽選会

◇観光・物産展

味力も満載！おおいたの食の魅力や地域の特産品をPRするため、物販ブースを出展、総額416万円の売上。また、観光情報PRのため観光ブースも出展し、キャンペーンレディや着ぐるみキャラクター等が人気を集めた。（出展ブース数：物販20、観光21）

物販ブースで1000円以上購入者には、大分県特産品などが当たる抽選会を実施して、売上の向上と県産品PRを図った。



物販ブース



着ぐるみキャラクター



抽選会コーナー

◇おおいた竹あかりの祭典 in せんちゅうパル

NPO法人うすき竹宵と連携して、せんちゅうパル北広場に竹ぼんぼり 1000 本と竹オブジェを装飾し、大阪の街中に「おおいた竹あかりの祭典」を再現。

約 100 人の一般客による点灯式は注目を集め、最終日の竹ぼんぼり無料配布でも、1 時間半ほどで来場者にすべて引き取られた。



点灯式



一般客参加



北広場全景

【クロスメディア】

提携先と概要、実績

楽天トラベル：大分県特集ページを作成するとともに、バナーやメルマガによるPRを展開した。

第Ⅰ期 9/18～10/31（おんせん県おおいたの味力も満載）

予約人泊数 前年同期比＋14%

第Ⅱ期 2/18～3/31（大分県の体験型観光）

その他 TV・ラジオ・新聞・雑誌等複数メディアによる効果的な情報発信を実施した。

②県内周遊及び滞在時間延長促進事業

【JR九州の大分CPとの連携】

JR九州「おおいた豊再発見キャンペーン」実施にあたり、大分県、JR九州と連携してPR活動や着地型ツアー造成等を図った。

◇PR活動

- ・JR博多駅でのオープニングイベント（10/6～8）
- ・その他鹿児島中央駅や熊本駅など主要なJR駅でのキャラバン隊PR
- ・JR九州とタイアップしての情報発信
（please、列車内広告、TVCM、TV番組制作、雑誌掲載等）

◇着地型ツアー造成

- ・JR九州の県内各駅を発着点として、県内各地の体験メニュー、グルメ、ボランティアガイド等の魅力に触れる旅「駅から始まるミニツアー」を造成した。

催行期間 平成24年10月～平成25年3月

総本数 52本（国東市、由布市、九重町以外は全て網羅）

参加人数 約750名（25年2月末現在）

【大阪でのイベントPR】

J R大阪駅構内の梅田大丸店において、大分県の観光物産イベント「おおいた旅と美」を実施。通常の観光イベントとは異なる、関西地区の富裕層世帯の中高年女性に集中的にPRすることができた。

開催期間 平成24年10月31日（水）～11月4日（日）

開催場所 梅田大丸7階 婦人服フロア

県産品抽選会（15,750円以上購入者を対象）参加人数 2,320人

（５）M I C E誘致強化事業

上期に引き続きM I C E情報データベースの構築（各地方持ち回り開催）を行い、その内全国大会規模（1,000人以上）の大会主催者37団体に対してDMを送付した。また、東京国際フォーラムで毎年12月に開催されている国際ミーティングエキスポ（IME2012）に別府市コンベンション振興協議会、コンベンションリンケージと共同で出展し、大会開催案件を持つ団体の情報収集を図った。

また、昨年度のIME2011以降継続してセールスしていた全国IBMユーザー研究会連合会が開催する研修会「iSUC(アイザック)」については、今年11月にビーコンプラザを主会場として開催することが決定した。

スポーツツーリズムに関しては、11月にエージェント、大学、連盟など関西の大学生を対象にしたセールスを行った。また、県外からの集客がたくさん見込める別府大分毎日マラソンの「ランナーの広場」で出展ブースを設け、施設情報のPRを行った。

教育旅行に関しての上期事業内容は、下記参照。

①教育旅行シンポジウムの開催（7/10 別府湾ロイヤルホテル）

②九州観光推進機構主催「九州7県合同修学旅行説明会」参加

8月7日 名古屋 8月20日 東京 8月21日 大阪

③上記②参加に合わせ、各旅行会社セールス

④関西プロモーションの一環として、9月3、4日 関西地区セールス

③、④のセールス時に、コンベンションガイドブックとスポーツツーリズムガイドを各旅行社に配布し、PR活動を実施

下期における教育旅行事業内容は、下記参照。

①大分県教育旅行誘致協議会部会開催（10/16）

新たに作成する教育旅行ガイドブックと日修協発刊「教育旅行（大分特集）」内容についての確認。

②日本修学旅行協会発刊「教育旅行」取材アテンド（11/5～7）

大分県特集（3月号）で取り上げる地域取材同行

③高松市・広島市誘致セールス（12/11～12）

高松市は旅行会社、広島市は中学校へのセールス

④関西方面誘致セールス（2/19～20）

大分県内のグリーンツーリズム研究会と担当行政で、3班に分かれ、大阪
京都、神戸の旅行会社と中学校にセールス

⑤岡山市・福山市・広島市誘致セールス（3/14～15）

大分県教育旅行誘致協議会会員（亀の井バス、大分県グリーンツーリズム
研究会）と大分県大阪事務所と一緒に旅行会社へセールス

（6）国東半島アートプロジェクトを活用した PR 事業

国東半島アートプロジェクト2012春季に併せて、福岡圏域の女性向け雑誌ア
ヴァンティに掲載・情報発信するとともに、豊後高田市香々地へのバスツアーの
造成支援を行った。

（7）おんせん県おおいた PR 事業

「おんせん県おおいた」の垂れ幕及び幟を JR 大分駅や別府駅、大分空港ターミナ
ルビル、フェリー乗り場等県内の交通拠点に設置するとともに、大分合同新聞元日
朝刊に温泉特集を掲載した。また、新しいロゴマークの選定業務を行った。

2 観光情報収集・発信事業

（1）観光情報収集事業

昨年度に引き続き、地域観光協会の観光情報と連携する XML システムを活用しな
がら、県内の旬の情報やご当地ならではの情報、会員を中心とした新しい取り組みに
関する情報の収集に努めた。

（2）観光情報誌発行事業

情報発信委員会を中心に企画し、県内季節ごとの魅力ある情報をまとめた観光情報
誌「Gururitto ぐるり」を年4回計20万部発行し、九州内の道の駅や県内外の公共
交通機関のターミナル、イベントなどで配布した。

今年度は主に女性をターゲットとし、実用性の高い内容で仕上げるとともに、毎号
「ぐるりの食卓」で掲載した商品を読者プレゼント及びアンケートを実施し、読者層
や入手場所、記事に対する感想などの情報収集を行った。

夏号「カモン！！山ガール・釣りガール」（6月22日（金）発行）

秋号「それゆけ！！鉄道女子」（8月24日（金）発行）

冬号「Let's 女子力アップ！」（11月21日（水）発行）

春号「恋セヨ、乙女！」（2月27日（木）発行）



また、会員向けには2ヶ月に1回「ツーリズムおおいた NEWS」を発行し、各種事業の実施状況の報告並びに県内の観光の動向を紹介した。

(3) 観光ホームページ管理事業

ホームページの「旬の情報」と「お知らせ」、及びツイッターを通して観光情報を発信するとともに、季節特集（夏・秋・冬・春）を組み、大分県の魅力発信を行った。

夏特集は『大分の夏を遊ぶ！海ドライブ・山ドライブ』と題し、涼を求めて緑爽やかな高原を巡る山ドライブルートと夏を遊びつくすレジャー満載の海ドライブルートを紹介した。

また、秋特集では『駅からGO！秋をめぐる旅へ』と題し、昨秋10月からスタートした企画「駅から始まるミニツアー」計50ツアーの中から、食欲・文化・スポーツの秋の3テーマに沿ったツアーを、一般より募集したモニターさんに一足早く体験してもらい、その模様を紹介した。

冬特集では『日本一のおんせん県おおいたで家族力アップ！！』と題し、源泉数・湧出量ともに日本一を誇る「おんせん県おおいた」ならではの家族で楽しめる魅力溢れる温泉を、温泉に詳しいご家族とともに紹介した。

春特集は『春爛漫！ペットとおでかけ』と題し、ペット同伴可能な宿泊施設や温泉、ドッグラン併設のスポットを可愛いワンちゃんたちとともに紹介した。



（４）マスメディア活用事業

今年度は福岡、大阪、東京で読者の多いフリーペーパーへの広告出稿を積極的に行い、身近なメディアによる情報発信の強化を図った。

また、今年は「日本一のおんせん県おおいたの味も満載」のキャッチコピーの元、テレビはおんせん県らしく、別府や由布院を中心に上げる撮影が多く、その撮影に協力を行った。

一方、雑誌や新聞には、それぞれの媒体のニーズに応じつつ、こちらからも具体的な提案を行うなどして、県内の幅広い地域を取り上げてもらうようにして、その上で取材協力を行った。

さらに、今年度は九州オルレ奥豊後コース等の新しい観光素材や、従来ある観光素材の使用等で要望の多い写真を撮影し、ツーリズムおおいたHPにある「おおいた風景写真集」に掲載した。これにより、「おおいた風景写真集」の内容の充実を図るとともに、旅行エージェントやマスコミ等、大分を紹介してくれる方々への利便性の向上を図った。

なお、大分航空利用促進期成会が実施する観光PR事業については、8月に東京有楽町の交通会館で実施した、大分県のPRイベント「まっちよるけんおおいたフェア」への参加や、首都圏のマスコミや旅行エージェントを対象に実施したモニターツアー（2回実施）にも実施前の段階からのアドバイス、当日は実際にツアーのアテンドを行うなど、積極的な協力を行った。



【テレビ】

○日本テレビ系列「ヒルナンデス」

別府・由布院ロケ

放送日：平成24年12月17日、平成25年1月7日

○TBS系列「S☆1」

高橋尚子のRUN百景 別府・由布院ロケ

放送日：平成25年3月10日(別府)、4月予定(由布院)

○BS日テレ「イチオシ！2泊3日の旅」

別府・由布院ロケ

放送日：平成25年4月19日予定(由布院)、5月予定(別府)

【雑誌】

○「温泉博士」6月号

掲載スポット：アフリカンサファリ、高崎山、別府ラクテンチなど

○「クオリテ」8月号 ※東急カードのゴールド会員向けの会員誌

取材地域：別府、杵築、豊後高田、中津、宇佐、臼杵、津久見、佐伯

○「ブルータス」738号（8月発売）

取材地域：宇佐、中津

○「TOKK」9月1日号 ※阪急電鉄各駅に設置するフリーペーパー

掲載内容：おおいた竹ものがたり in せんちゅうパルのPR

○「OPP i」9月号 ※大阪市営地下鉄の各駅に設置されているフリーペーパー

掲載内容：九州北部豪雨による災害からの復興PR

○「温泉博士」10月号

掲載地域：別府、由布院、日田、竹田、中津

○「メトロガイド」10月号 ※東京メトロの各駅に設置されているフリーペーパー

掲載地域：竹田、豊後高田（九州オルレ奥豊後コース）

○「旅と鉄道」1月号

取材地域：日田、竹田

○「男の隠れ家」3月号

取材地域：別府、九重

○「CREA」5月号予定

取材地域：別府（高橋尚子と行く日本旅RUNのコーナー）

【新聞】

○朝日新聞九州版「おおいたの魅力特集」

掲載日：平成24年7月13日

掲載地域：大分、別府、由布院、竹田、豊後大野、佐伯、津久見

○読売新聞九州版「大分観光特集」

掲載日：平成24年7月29日

掲載地域：杵築、佐伯、由布

○産経新聞中国・四国版

掲載日：平成24年8月11日

掲載内容：九州北部豪雨による災害からの復興PR

○スポーツ報知関西版「面白まち歩き」

掲載日：平成24年11月28日

掲載地域：臼杵

○産経新聞関西版「大分観光特集」

掲載日：平成25年1月30日

掲載地域：別府、日田（天ヶ瀬）、国東半島、佐伯、津久見

（５）おおいた観光元気発信事業

昨年７月に日田、中津、竹田、由布等を襲った集中豪雨の影響により、観光客からの相次ぐ予約キャンセルが起こった。これは被災地域だけでなく、直接の被害がほとんど無かった別府市などでも起こり、県内における風評被害が深刻になった。

そこで、災害から復興し、元気な大分県をPRするため、福岡圏域、関西圏域で、メディアを通じた情報発信等により、災害からの復興と、豪雨により被害を受けた地域の安全と元気を積極的にアピールしていった。



【テレビ】

○TBS系列「はなまるマーケット」

中津「からあげフェスティバル」ロケ

放送日：平成24年9月26日

○テレビ西日本「ももち浜プラス」

中津・日田・竹田ロケ

放送日：平成25年2月5日（中津）

平成25年2月25日（日田）

平成25年3月12日（竹田）

【雑誌】

○「リビング福岡」10月20日号

掲載地域：別府、由布院、中津、日田、竹田

○「TOKK」11月15日号

掲載地域：別府、由布院、日田、中津、竹田、九重

【その他】

○大分トリニータホームゲームでの大分銀行ドーム大型ビジョンを利用したPR

大分トリニータの森島選手からのメッセージを9月23日外3試合で放映

○デジタルサイネージ（大阪阪急梅田駅での「元気です！大分」情報発信映像放映）

放映日：平成24年11月19日～12月18日

放映内容：日田、中津、竹田を中心とした元気な大分観光をPRする映像

（６）緊急雇用おおいた観光元気発信事業

（５）同様、九州北部豪雨の被災地である日田、中津、竹田等について、災害から復興し、元気な姿をPRするため、福岡圏域、関西圏域、首都圏域で、チラシの配布による観光PR活動や、メディアを通じた情報発信等により、災害からの復興と、豪雨により被害を受けた地域の安全と元気を積極的にアピールしていった。

【テレビ】

○テレビ東京系列「大人の極上ゆるり旅」

日田・由布院ロケ

放送日：平成24年12月11日(由布院)、18日(日田)

【雑誌】

○「シティ情報ふくおか」11月号

取材地域：別府、杵築、豊後高田、中津、宇佐、臼杵、津久見、佐伯

○「アヴァンティ」738号(8月発売)

取材地域：宇佐、中津

○「e～みる」9月号 ※福岡県の春日、筑紫野等で配布されるフリーペーパー

取材地域：日田、竹田

○「ぐらんざ」1月号

掲載地域：別府、竹田(長湯)、九重(筋湯)、由布(湯平)、日田(天瀬)

【PR活動】

○大分豊再発見祭り

実施日：平成24年10月6日～8日

開催場所：JR博多駅前広場

○九州観光・物産フェア2012

実施日：平成24年10月13日～14日

開催場所：東京代々木公園

○RKBラジオ祭り

実施日：平成24年10月27日～28日

開催場所：RKB放送会館ほか

○おおいたキャンペーンPR

実施日：平成24年11月9日、16日

開催場所：JR博多駅構内

○広島福屋「大分県物産・観光展」(写真右)

実施日：平成25年2月7日～12日

開催場所：広島福屋八丁堀本店

○おおいたフェア2013 in 関西

実施日：平成25年2月16日～20日

開催場所：イオン洛南店(京都市)

○ジェイアール東海ツアーズ「50+ 10周年記念イベント」

実施日：平成25年2月22日～23日

開催場所：JR名古屋駅中央コンコース

○九州・沖縄の観光と物産展



実施日：平成 25 年 2 月 23 日～24 日

開催場所：せんちゅうパル南広場（大阪府豊中市）

○ふるさとの食につぼんの食

実施日：平成 25 年 3 月 9 日～10 日

開催場所：東京代々木公園

○春旅フェア in 岡山

実施日：平成 25 年 3 月 16 日～17 日

開催場所：J R 岡山駅前

【招聘ツアー】

○J R 九州東京本社プレスモニターツアー

実施日：平成 24 年 10 月 26 日～27 日

周遊地域：日田、由布院、玖珠、豊後高田

○J T B 関西エージェントファミツアー

実施日：平成 24 年 12 月 12 日～13 日

周遊地域：中津、別府、由布院、大分

（7）緊急雇用広域観光連携促進事業

県内の主要交通拠点の道の駅やバスターミナル、フェリー乗り場にツーリズムおいたの広域観光情報ブースを設置し、観光情報の発信や二次交通の案内、イベント案内等の情報発信を行った。

（8）ジオモニターツアー事業

大分県、姫島村、豊後大野市とタイアップし、旅くらぶおいたの会員を対象に広島、福岡、佐賀、大分から総勢 51 名のモニターを姫島村と豊後大野市でそれぞれ 2 日間実施した。今年度から大分県が取り組みを始めた「ジオパーク」のモニターツアーとしてのものであったが、参加者の評価は高く、大分県の新たな魅力の発見、創造につなげることができた。

実施日：10 月 20 日（土）、21 日（日）「姫島ジオモニターツアー」、

10 月 27 日（土）、28 日（日）「豊後大野市ジオモニターツアー」

（9）県内各地観光案内所との連携強化事業

JR 大分駅の高架開業に伴い、リニューアルされる大分市観光案内所をはじめ、県内各地の観光案内所と連携し、観光客・来県者に向けた情報発信に努めた。

3 海外観光客誘致対策事業

（1）中国・韓国・台湾など誘客対策事業

アジア圏を中心に観光誘客を図るため、海外エージェントに向けたセールスを実施

した。中国、韓国からの大型クルーズ船の県内寄港の定期化に向けた誘致活動を行うとともに、新しい観光素材として注目を集める「九州オルレ」のPR、香港での現地プロモーションなどを行った。

また、国のビジット・ジャパン（VJ）事業や九州観光推進機構及び九州各県とも連携を図り、効果的な誘致活動を実施した。

【中国】

九州観光推進機構や九州各県と連携してメディア取材や旅行エージェントの招聘、九州運輸局が重点事業に掲げる教育旅行の視察受入など、情報発信や商品造成を働きかけた。

また、4、7～8月には大型国際クルーズ船「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」が別府国際観光港に寄港。国際観光船誘致促進協議会と協力して歓送迎などを行った。



【韓国】

福祉、農業などの視察団体やマスコミによる取材の受入を行うとともに、「韓国国際観光展(KOTFA2012)」の出展や商談会への参加などエージェント、FIT客両方面からのアプローチを図った。

また、新たな観光素材として注目を集める「九州オルレ」奥豊後コースの積極的なPRを行った。

今年度は韓国初の国際クルーズ船「クラブハーモニー」が別府国際観光港に寄港し、国際観光船誘致促進協議会と協力して歓送迎などを行った。



【その他地域】

九州観光推進機構や九州各県と連携してタイ、シンガポール、台湾などメディア取材や旅行エージェントの招聘、教育旅行の視察受入、商談会や旅行博への出展協力など、情報発信や商品造成を働きかけた。香港からは、現地飲食店チェーンの別府麺館の協力を得て、旅行社、マスコミの招請を実施した他、11月と2月には現地セールスを行った。



また、8月には熊本県、長崎県と連携して、東京で在京ランドを対象とした商談会を開催し、1月には九州へ招請事業を実施した。

（２）外国語観光情報発信強化事業

情報発信ツールとして訪日外国人観光客が最も活用しているインターネットの民間旅行サイトに大分県の観光情報を掲載し、情報発信力の強化を図った。

4 ツーリズム推進体制強化事業

(1) 総会の開催

会員の総意に基づきツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を6月22日にホテル白菊で開催した。通常総会においては、前年度の事業報告や決算報告を行うとともに、新年度の事業計画案、収支予算案並びに公益法人移行に伴う定款変更などを諮り、すべて原案通り承認された。また、大分県のツーリズム振興に特に功績のあった1団体・1個人に対してその功績を称え、表彰を行った。

(2) 理事会の開催

理事の交代に伴う副会長・専務理事選任のため、通常総会の途中で理事会を開催した。また、10月と翌年3月にそれぞれ定例の理事会を開催した。

(3) 運営会議の開催

事業活動の円滑な運営と活性化を図るため、会長及び副会長からなる運営会議を6月と3月に開催した。

(4) 運営基盤の確立

安定した運営基盤を確立するため、新規会員の加入や自主事業収入の確保に努めた。

(5) 会員との連携強化

大分県全体のツーリズム振興をさらに円滑に行うため、各地域の市町村・観光協会・観光事業者・まちづくり団体など会員との連携・情報収集に努めた。